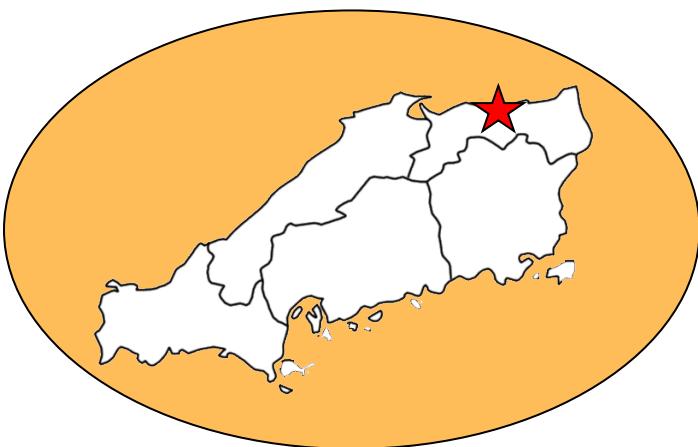


【鳥取】鳥取短期大学「ふあーまーがーるず」



取組概要

- 日時：平成24年 6月26日～
平成24年12月20日
- 場所：鳥取短期大学附属幼稚園
「チクチク山」他（鳥取県倉吉市）
- 内容：さつまいも栽培と収穫・調理
意見交換
- 参加者：鳥取短期大学生
鳥取短期大学附属幼稚園児他

参加者の意見・感想

- さつまいもの苗植えから収穫では、土に触れることの大切さを実感しました。中学生くらいから徐々に土に触れる機会が減っていましたが、今回の農業体験で久しぶりに土に触れることの大切さを実感しました。草取りや水やりなど、暑くて大変でしたが、とても楽しくできました。
- 園児たちが農業の大切さを実感し、食に興味を持ってくれたら嬉しいな、と思いました。また栄養土を目指す私たちにとっても農業を考えるためのよい機会となりました。
- 収穫時の園児たち、苗植えの時と比べものにならないくらい良い笑顔でした。
- 食農体験の効果の一つとして「嫌いな野菜が食べられるようになった」とのお話しを伺いました。将来食育に携わる私たちが頑張らないといけないと思いました。



おいもさん、大きくなーれ！大きくなーれ！



意見交換会

活動に関する問い合わせ先

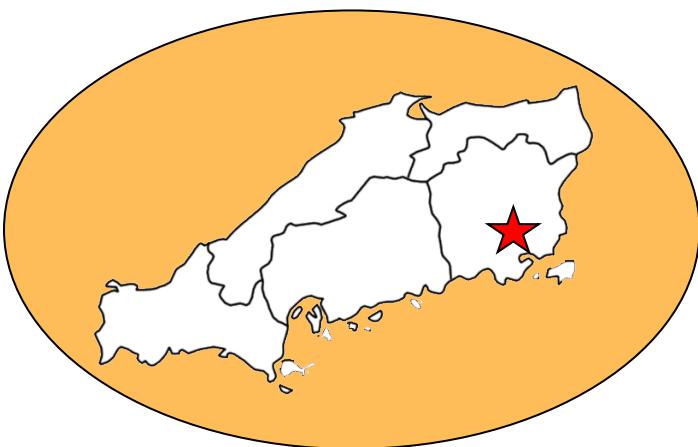
中国四国農政局 鳥取地域センター

住所：鳥取県鳥取市富安2丁目89番地4 鳥取第1地方合同庁舎

電話：0857-22-3184（直通）

ホームページアドレス：<http://www.maff.go.jp/chushi/nousei/tottori/index.html>

【岡山】学校栄養職員・くらしき作陽大学



取組概要

- 日時：平成24年8月21日
- 場所：岡山大学農学部附属山陽圏フィールド科学センター（岡山市北区）
- 内容：ブドウの枝管理と収穫・調整
秋野菜の種まき、ワークショップ
- 参加者：学校栄養職員
くらしき作陽大学生

参加者の意見・感想

- 食の大切さを伝えていくためには、自分が食についての知識を深めるとともに体験を通して農作業の大変さや農産物への感謝の心を伝えたい。
- 「身土不二」という言葉を児童や生徒に伝えていきたいと思った。（「身土不二」→身と、土は切り離せないという意味。また、その土地、その季節の食物がいいという考え方）
- ぶどうのつるの成長が早いので、生産者が毎日大変な作業をしているのだと感じた。
- にんじんが嫌いな子に栽培の難しさを伝えて、感謝の心をもって食べてもらえるように教える。
- 食材が貴重な理由を子ども達に伝えていかなければならないと思った。



背伸びをして、ブドウを収穫



ワークショップで、農業体験について、考えたことを話し合いました。

活動に関する問い合わせ先

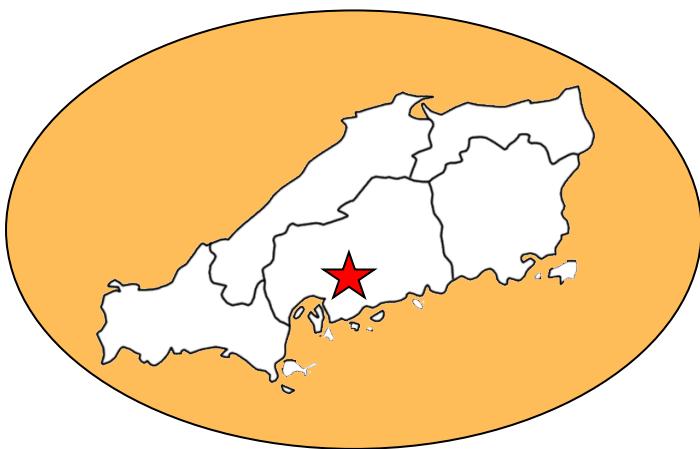
中国四国農政局 消費・安全部 業務課

住所：岡山県岡山市北区厚生町3-2-6 厚生町庁舎

電話：086-223-3195

ホームページアドレス：<http://www.maff.go.jp/chushi/syokuiku/torikumi.html#torikumi>

【広島】広島大学農業理解推進団体「じゃけん！農 (know) 」



取組概要

- 日時：平成23年10月16日
- 場所：末釜 健太郎 氏宅及び圃場（東広島市西条町）
- 内容：さつまいもの収穫・稲刈り体験
意見交換
- 参加者：大学生、農家、他

参加者の意見・感想

- 普段買い物をするだけでは生産者の姿が想像できない。農業体験することにより想像できるようになる。
- 農業体験は1回ではだめだと思う。回数を重ねるのが大事だと思う。
- じゃけん！農 (know) は昨年出来たサークルである。名前は広島弁の「じゃけん」と「農」と知る「know」を掛け合わせたものである。とても評判が良かったのでこれに決めた。農業体験を始めたのは今年春からである。
- 学生を受け入れたきっかけは最初はJAからの紹介だったが、学生と話すのが楽しいし、労力も助かるので今は自主的に受け入れている。また、農業は汚くないことや、苦労を知ってもらいたい。



さつまいもの収穫、焼き芋・・・むふっ！



意見交換会、知らんことが多かった
けー、勉強になったのー。

活動に関する問い合わせ先

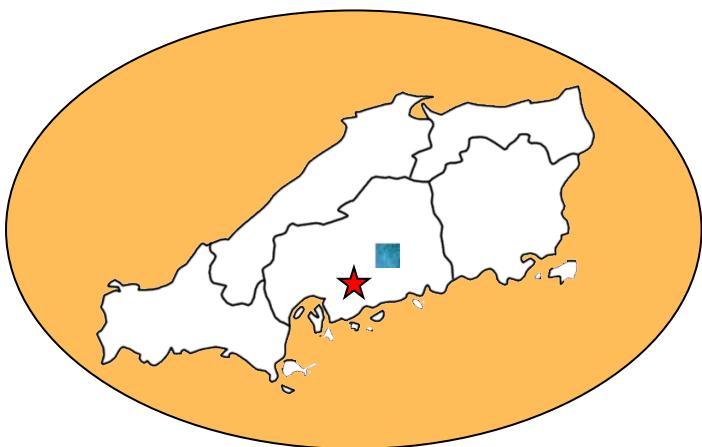
中国四国農政局 広島地域センター

住所：広島県広島市中区上八丁堀6-30 広島合同庁舎2号館6F

電話：082-228-5840

ホームページアドレス：<http://www.maff.go.jp/chushi/nousei/hiroshima/index.html>

【広島】広島県学校栄養職員（主催：ひろしま地産地消推進協議会）



取組概要

★水稻コース

- 日時：平成24年5月16日、8月24日、9月20日
- 場所：農事組合法人ファーム・おだ（東広島市河内町）
- 内容：田植え、栽培管理、稻刈り等
- 参加者：学校栄養職員

■キャベツコース

- 日時：平成24年8月8日、9月7日、11月16日
- 場所：農事組合法人くろぶち（世羅郡世羅町黒渕）
- 内容：キャベツ植付け、栽培管理、収穫等
- 参加者：学校栄養職員

参加者の意見・感想

- このような農業体験などの食育の取組は、周りの先生方の関心も深いため、学校内でも情報を共有し積極的に取り入れていきたい。
- これまで、子どもたちに本などにより想像で話していたが、これからは自分の体験として話ができる。
- 収穫した外葉と根っこ付いたキャベツを学校に持ち帰り、スーパーで売っているキャベツとの違いを見せながら、農家の苦労話などを伝えていき、子どもたちの食べ物への関心を深めていきたい。
- 今回は、数日間楽なところだけ体験させてもらったが、本当は毎日が大変な作業だと思うので、農家のみなさんの苦労は計り知れないと思った。



キャベツの収穫体験「結構重たいなあ」



稻刈り体験「腰が痛いよ～！！」

活動に関する問い合わせ先

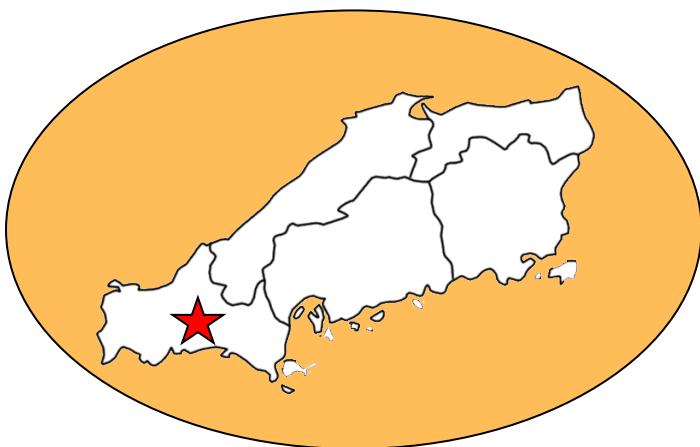
中国四国農政局 広島地域センター

住所：広島県広島市中区上八丁堀6-30 広島合同庁舎2号館6F

電話：082-228-5840

ホームページアドレス：<http://www.maff.go.jp/chushi/nousei/hiroshima/index.html>

【山口】宇部市学校栄養職員・保育園給食担当者



取組概要

- 日時：平成24年 8月 7日
- 場所：クラインガルテンおおとみ農家楽（山口市仁保）
- 内容：里山散策の中で食の原点を見ながら山菜や野菜を収穫・調理等
- 参加者：宇部市学校栄養職員
保育園給食担当職員

参加者の意見・感想

- 収穫から調理までを体験することで、食事をすることの大変さを改めて感じた。また、山に少し入っただけでとても涼しく、山の話を聞いて、山の見方が変わった。
- すべての給食を保育園で作っているが、その材料ができる現場を見に行ったことはなかった。これからは生産現場にも目を向けてほしい。
- 給食で出る食材の原点（農村や農林業）のことも踏まえた伝え方をしていきたい。
- 食育講演会等で、「食と農」や「命の大切さ」について伝えていきたい。



山を荒らす竹で、竹筒ごはん炊飯中！
暑くて汗だく・・・



講座「いのちを見せること」
食べ物がどこでどのようにできるかを見
ていくと、食べ方が変わります・・・

活動に関する問い合わせ先

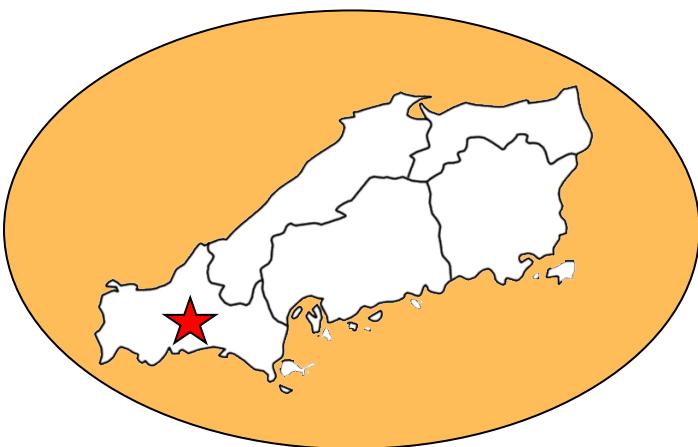
中国四国農政局 山口地域センター

住所：山口市惣太夫町3-8

電話：083-922-5203

ホームページアドレス：<http://www.maff.go.jp/chushi/nousei/yamaguchi/index.html>

【山口】山口県立大学畠部



取組概要

- 日時：平成23年10月 2日
平成23年12月17日
- 場所：畠部農園（山口市）
山口県立大学講義室（山口市）
- 内容：さつまいもの収穫や畠（うね）
づくり
ワークショップ・意見交換
- 参加者：畠部大学生

参加者の意見・感想

- 大学に農地を。敷地内に農地があると畠部以外の人も身近に農業を感じることができる。
- 農作業は地道な作業。暑くても寒くても畠に行かなくてはならない。でも、続けていくことで得られるものがたくさんある。
- 生で食べると野菜の味がよくわかる。野菜は調理されたものを食べる事が多いが、生の味を知ることも大切だと思う。
- 一番印象に残ったのは、「畠部の体験を老後に孫に話したい」という意見。人とのつながりなしに生きてはいけないし、生きることと食と農を切り離すことは出来ない。



畠部による畠づくり・さつまいもの収穫
手際がいい！！



ワークショップ
「風景・農業を楽しいと感じてもらうことが大切！」
「若者にもっとわかりやすい情報提供を！」

活動に関する問い合わせ先

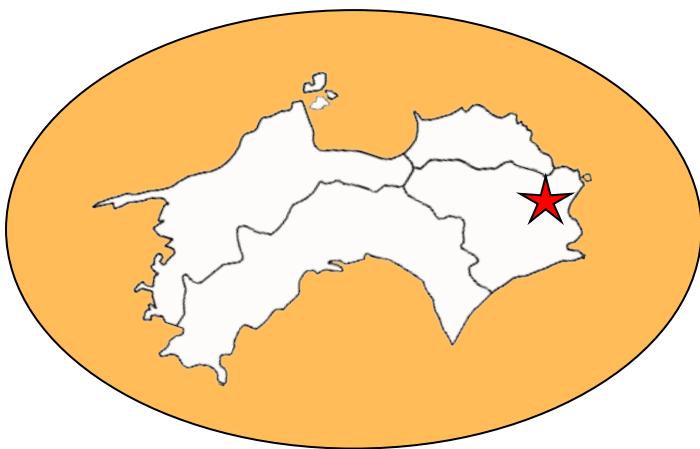
中国四国農政局 山口地域センター

住所：山口市惣太夫町3-8

電話：083-922-5203

ホームページアドレス：<http://www.maff.go.jp/chushi/nousei/yamaguchi/index.html>

【徳島】徳島大学食育サークル「CAERUの会」



取組概要

- 日時：平成22年11月14日
- 場所：えんたのれんこん推進会議圃場
(鳴門市大津町)
- 内容：レンコンの収穫、意見交換
- 参加者：徳島大学生

参加者の意見・感想

- 大学生の食生活が悪いのは、親の世代が食に関する意識が希薄なせいではないか。
- 子どもの成長期での大切な段階で正しい味覚を教えるべき。自然の味（素材の味）を伝えるべき。
- 食育を普及するためには、知識だけではなく、自分の体験がないとわかってもらえないので、良い体験になった。
- 農業体験後に郷土料理を昼食として提供することで、子どもに地元でとれた食材のおいしさを伝えることはよいことだと思った。
- 農家の方が教えてくれた食育活動の仕方のヒント“遊び”“楽しさ”という要素を大切に、今後も活動を続けていこうと改めて思った。



レンコン収穫「捕ったぞー！！！」



昼食後の意見交換

活動に関する問い合わせ先

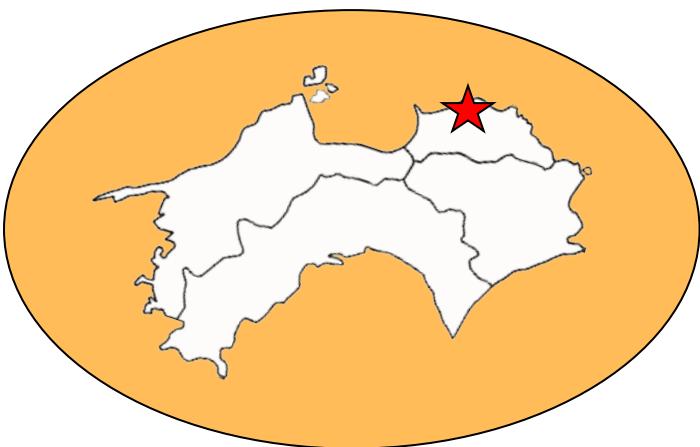
中国四国農政局 徳島地域センター

住所：徳島県徳島市中昭和町2丁目32番

電話：088-622-6136

ホームページアドレス <http://www.maff.go.jp/chushi/nousei/tokushima/index.html>

【香川】香川短期大学



取組概要

- 日時：平成24年 6月 1日
平成24年 6月 4日
- 場所：香南アグリーム（高松市香南町）
香川短期大学（綾歌郡宇多津町）
- 内容：じゃがいもの収穫、さつまいもの植付け、調理実習
- 参加者：香川短期大学食物栄養専攻学生
食育活動実践者

参加者の意見・感想

- じゃがいもの栽培を体験し、普段何気なく接していた野菜が、思いを込めて作られていることを実感した。将来、この体験を伝えていきたい。
- じゃがいもの栽培を通じ、喜びを感じた。農業の大切さを、食を介して指導していければと思う。
- じゃがいもを3月に植付け栽培したが、子供の成長を見るような感じがし、苦労と愛情を感じた。
- じゃがいもの収穫体験をさせていただいた。自分たちが収穫したじゃがいもが色んな姿に変わっていくのを見て、育てた喜びを感じた。農業、食への感謝の気持ちを忘れずに今後も栄養士の勉強に取り組んでいきたい。



じゃがいも収穫「こうなっているのね。」



収穫したじゃがいもを使った調理実習

活動に関する問い合わせ先

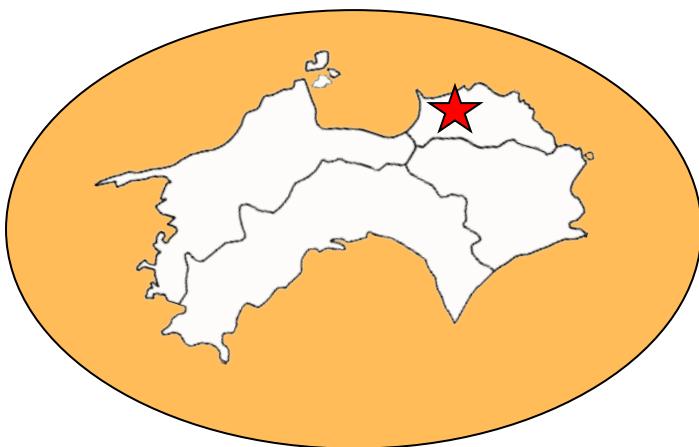
中国四国農政局 高松地域センター

住所：香川県高松市天神前3番5号

電話：087-831-8151 (総合窓口)

ホームページアドレス <http://www.maff.go.jp/chushi/nousei/kagawa/index.html>

【香川】坂出・綾歌中学校教育研究会学校給食部会



取組概要

- 日時：平成24年 7月30日
- 場所：香川県立農業大学校
(仲多度郡琴平町)
- 内容：ピーマン、ナス、トマトの収穫、
カボチャの種播き
- 参加者：坂出・綾歌中学校教育研究会
学校給食部会会員

参加者の意見・感想

- 農業体験を普段することがなく、暑い中でしたが充実していました。お金を出せば商品を手にすることができる今の世の中ですが、やはり物の大切さを、これから子供達に教えていかなければならないし、学校給食の中でも伝えていかなければならないと思いました。
- 農業体験は初めてだったが、汗をいっぱいかいでの収穫体験は楽しくて、貴重な体験として児童・生徒に話ができたと思う。目の前の給食や、家での料理だけで好き嫌いを判断するのではなく、あらゆる機会を通して、命をいただいていること、薄れている感謝の気持ちを持つこと等、絶対に忘れてはいけないことを今一度思い出させていきたいと思う。食育推進に頑張っていきます。



トマトの収穫作業、もぎもぎ☆



意見交換会

活動に関する問い合わせ先

中国四国農政局 高松地域センター

住所：香川県高松市天神前3番5号

電話：087-831-8151 (総合窓口)

ホームページアドレス <http://www.maff.go.jp/chushi/nousei/kagawa/index.html>